



平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第116期上半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、当社の事業概況やその取り組みおよび成果等につきまして、ご報告させていただきます。

代表取締役社長 岩田 裕美

当第2四半期の経営成績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策効果等により、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外景気の下振れが景気を下

押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況がありました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅い動きとなっていたものの、設備投資は持ち直しの動きに足踏みが見られ、また、労務需給や原材料価格等の動向に

企業理念

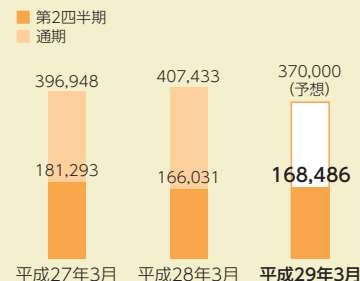
わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

- 信頼を築く
- 技を磨き、伝える
- 夢をいだき、挑戦する

連結決算ハイライト

売上高（単位：百万円）



も注意を要するなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社および当社連結子会社(以下「当社グループ」といいます。)は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売を強化するとともに、コスト削減や業務の効率化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,684億86百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。利益につきましては、営業利益は167億36百万円(前年同四半期比31.1%増)、経常利益は166億94百万円(前年同四半期比22.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は100億16百万円(前年同四半期比18.5%増)となりました。

通期の見通しについて

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、下記の通り平成28年5月11日発表の予想数値を継続しております。

第116期 連結業績予想

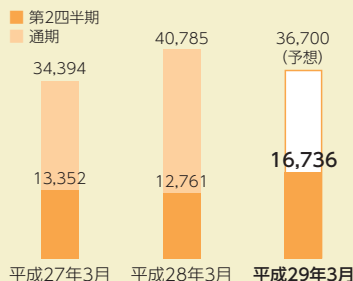
	億円	前期比
売上高	3,700	-9.2%
営業利益	367	-10.0%
経常利益	380	-9.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	248	-5.4%

当社は独占禁止法違反事件に伴い、厳しい行政命令、刑事判決を受けました。

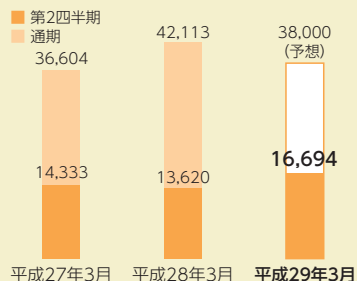
度重なる不祥事の発生により、株主の皆様には、多大なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。当社といたしましては、この事態を厳粛に受け止め、再発防止に向けてコンプライアンスの一層の強化、徹底を図り、皆様の信頼回復に全力を挙げていきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

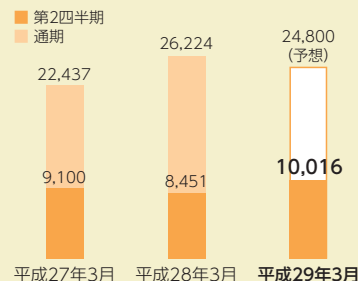
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



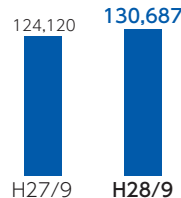
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



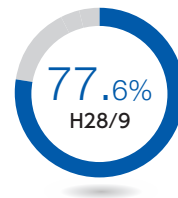
建設事業

当社グループは建設業法に基づく国土交通大臣許可を受けた建設業、およびこれに関連する事業を行っています。建設事業は当社グループの主要部門であり、「舗装土木事業」「建築事業」で構成されています。

売上高 (単位: 百万円)



売上高構成比



舗装土木事業



事業内容

1934年の設立以来、人や環境への配慮といった視点から、独自の技術を生かした道路舗装土木事業を行ってきました。近年では、交通量の増加や車両の大型化が進み、道路の維持修繕の重要性が一層高まっています。

売上高

1,021億38百万円
前年同期比 9.7%増 ▲

営業利益

95億6百万円
前年同期比 24.3%増 ▲

建築事業



事業内容

1983年から本格的に建築事業に取り組み、組織力を生かした総合事業に大きな信頼を寄せていただいております。お客様の要望や現場の状況に応じた綿密なコンセプトづくりから施工、メンテナンスまで、あらゆるニーズに満足していただける快適な空間を提供し続けます。

売上高

285億49百万円
前年同期比 7.9%減 ▼

営業利益

21億68百万円
前年同期比 43.5%増 ▲

	発注者	工事名
主要完成工事	コマツ建機販売株式会社	コマツ弘前オフィス新築工事
	医療法人社団和風会	(仮称) 所沢中央病院新棟新築工事
	名古屋市交通局	高速度鉄道耐震補強工事 (26-7) (一般土木工事)
	JXエネルギー株式会社	DDセルフ西条インターSS 全面改造工事
	臼杵運送株式会社	臼杵運送株式会社熊本営業所新倉庫建設工事
主要未成工事	JXエネルギー株式会社	DDノースタウン39SS 全面改造工事
	大阪府	主要地方道伏見柳谷高槻線高槻東道路 (成合工区) 道路改良工事その1
	西日本高速道路株式会社関西支社	新名神高速道路 神戸舗装工事
	西日本高速道路株式会社四国支社	高松自動車道 引田IC~三島川之江IC間舗装補修工事
	国土交通省九州地方整備局	長崎空港誘導路 (P2) 改良工事

製造・販売事業



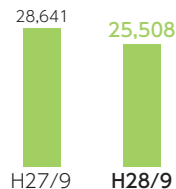
売上高

255億8百万円
前年同期比 10.9%減 ▼

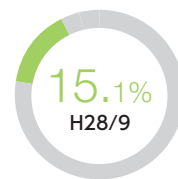
営業利益

69億7百万円
前年同期比 10.6%増 ▲

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



事業内容

道路を舗装するために最も多く使用されている材料がアスファルト合材です。当社は全国約160ヶ所にアスファルト合材の供給基地を持ち、当社の工事で使用するだけでなく、ほかの舗装業者にも販売しています。また、循環型社会形成のために、舗装廃材のリサイクルシステムを構築し、アスファルト舗装廃材を受け入れて、自社工場で再生・再利用しています。

開発事業



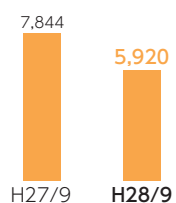
売上高

59億20百万円
前年同期比 24.5%減 ▼

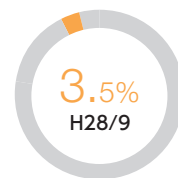
営業利益

5億91百万円
前年同期比 35.3%増 ▲

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



事業内容

当社のネットワークとノウハウを生かし、デベロッパーとして安心・快適な街づくりに取り組んでいます。宅地開発・建物分譲事業、マンション分譲事業 (ル・サンク [Le Cinq] シリーズ)、オリジナル住宅事業 (グラチア [GRATIEA] シリーズ)、不動産賃貸事業 (アーバス [ABAS] シリーズ) などを展開し、都心部や中核都市で、安心・快適に過ごせる商品を提供しています。

その他



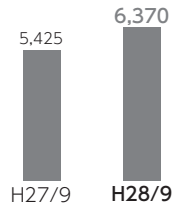
売上高

63億70百万円
前年同期比 17.4%増 ▲

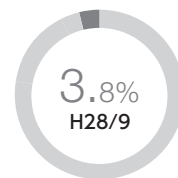
営業利益

7億64百万円
前年同期比 45.6%増 ▲

売上高 (単位:百万円)



売上高構成比



法令遵守 徹底のための 取り組み

当社では、全ての役職員が法令を遵守して職務を遂行していくため、様々なコンプライアンス体制強化策を実施しておりますが、当社は東日本高速道路株式会社東北支社が発注する東日本大震災に係る舗装災害復旧工事の入札に関する独占禁止法違反の容疑により、平成28年9月15日、東京地方裁判所において有罪判決を受けました。また、これに先立つ平成28年9月6日には公正取引委員会より排除措置命令及び課徴金納付命令を受けております。

更に平成28年9月21日には東日本高速道路株式会社関東支社が発注する東日本大震災に係る舗装災害復旧工事に関して公正取引委員会より排除措置命令を受けております。

当社は、この事態を厳粛に受け止め、再発防止に向けた諸施策を推進中です。

コンプライアンス体制の改革

トップメッセージの発信

経営トップから全従業員に対しコンプライアンスに関するメッセージを発信するとともに、経営トップが全国各支店の主要会議に出席して、地域ごとの役職員に対し直接メッセージを伝えています。

社内ルールの改正

実効性あるコンプライアンス体制を確立するために、各種社内規程、マニュアル等の見直し、改正を行い、法律の無知、誤った認識等の排除を将来にわたって確保します。



本社人材部主催の工場長研修時のコンプライアンス教育

適正な受注活動を確保するための施策

営業担当者の行動ルールの明確化

社内ルールを改正し、営業担当者が勝手に判断し行動することのないよう、同業者同士の接触制限等、ケースごとの注意事項を従前以上に明確に定め、遵守させます。

営業担当者の指導・教育

営業担当者に対して、定期的に集合研修を実施して、社内ルール遵守の徹底を指導・教育します。



九州支店での弁護士による独占禁止法の講演

ルール遵守のモニタリング

新たに定めた独占禁止法ルールの遵守状況を監督するため、各事業所の定期的点検において、営業担当者に対する個人面談を通じた厳格なモニタリングを実施します。

コンプライアンス意識浸透状況の把握

営業担当者から、法令遵守の誓約書および教育内容の理解度、認識度を判定するためのチェックシートを提出させ、個別面談を通じてコンプライアンス意識浸透状況の把握に努めます。

内部通報制度の周知徹底

法令違反行為を未然に防止し、早期是正を図るために、内部通報制度の周知徹底に努めます。

組織・人事的対応

営業担当者の人事ローテーションを再度見直し、談合やカルテルの生じやすい温床を形成させないよう、リスク回避を進めます。

また、違反行為当事者に対しては厳正な処分を行い、再発防止に努めます。

「企業行動5つの誓い」の唱和

現業に従事する従業員全員が、毎日、遵法スローガン「企業行動5つの誓い」を唱和して、CSR意識の定着を図っています。

企業行動5つの誓い

- 1 法令遵守**
▶その行為は法律に違反していないか
- 2 企業倫理**
▶その行為は企業理念や倫理に違反していないか
- 3 社会常識**
▶その行為は社会の常識か
- 4 社会の目**
▶その行為は社会の目、安心、安全にそむいていないか
- 5 自分の心**
▶その行為は間違いないか、自分の心に問いかける